

第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会を開催します

世界農業遺産推進課企画調整担当 ☎23-2281

「農泊」

農泊とは、農山漁村地域に宿泊しながら、滞在中に地域資源を活用した体験や食事などを楽しむ「農山漁村滞在型」の旅行のことです。全国でさまざまな宿泊の受け入れや、体験プログラムが提供されています。



「農泊」をキーワードに、全国の地域資源を生かし、農山漁村を元気にする取り組みを実践している人たちが集まり、情報や意見の交換を通じ、交流とネットワークづくりを目的に開催します。

水田農業が支える暮らしと文化、生物多様性の仕組みが、世界的な価値として認められた世界農業遺産「大崎耕土」を知ってもらう機会です。

大会開催により、さらに大崎耕土の豊かな地域資源を、農泊やグリーン・ツーリズムに反映し、実践していきます。

開催日 9月4日(土)、5日(日)

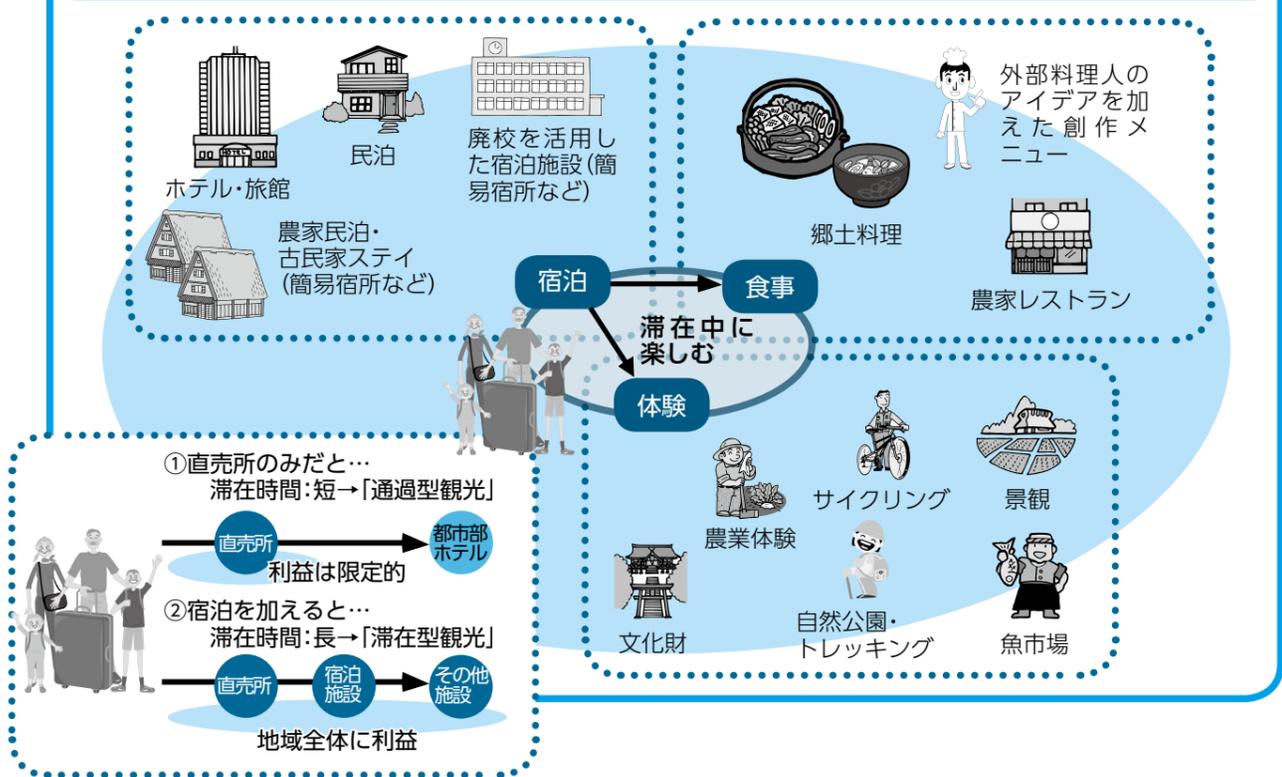
会場 岩出山文化会館

内容 9月4日(土): アトラクション、総合討論
9月5日(日): テーマ別分科会など

※分科会(6分科会)は大崎地域内の各会場で行います。

参加費(資料代含む) 2日間参加:3,000円(いずれかの1日のみ参加2,000円)、オンライン参加:2,000円
申込期間 6月28日(月)~7月30日(金)
※申し込み方法など、詳しくは市ウェブサイトでお知らせします。
その他 オンライン参加など、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し開催します。

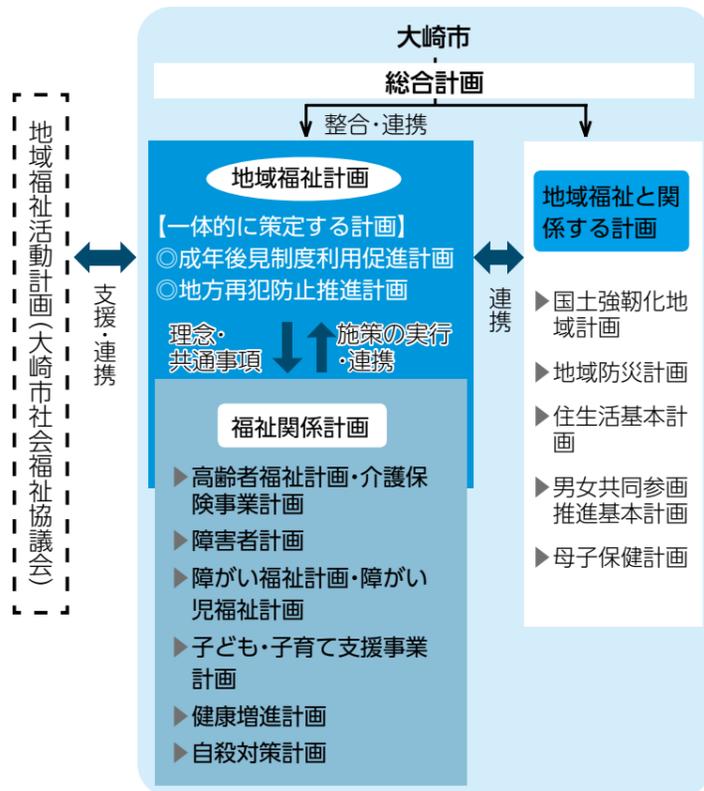
農泊(農山漁村滞在型旅行)



第3次大崎市地域福祉計画を策定しました

社会福祉課地域福祉担当 ☎23-6012

近年の社会状況の変化や、多発する自然災害の教訓、さらには複雑化する新たな課題に対応するため、第3次大崎市地域福祉計画を策定しました。



地域社会を巡る社会福祉環境は一層厳しさを増している。少子高齢化により、家庭や地域の相互扶助の機能の弱体化や地域住民のつながりの希薄化が進行しています。その中で、高齢単身世帯の増加、高齢者の社会的孤立、障がい者への理解不足が生む社会的排除、そして核家族化に伴う子育て不安の増大による子どもの虐待、自殺といった深刻な課題があります。関係する計画の整合性を図り施策すべてが機能的に連携。

「関連するSDGsの目標」

- 1 - 貧困をなくそう
- 3 - すべての人に健康と福祉を
- 10 - 人や国の不平等をなくそう
- 17 - パートナリーシップで目標を達成しよう

SDGsは、誰一人取り残さない、持続可能でより良い社会の実現を目指す、世界共通の目標です。

本計画の期間は、令和3年度から令和8年度までの6年間です。基本理念「地域の絆と支え合い―このまちに住んでよかったといえるまち・おおさき」の実現へ。安心して生活できる地域福祉の推進。地域で相互に支え合う仕組みづくりの推進。地域のボランティアとコーディネーターの育成・支援。

「市民・団体・行政」相互の信頼感を増し基本理念の実現へ。地域福祉を進めていくに当たり、定期的に進捗状況を点検し、施策の検討、調整見直しを行います。市民や関係機関・団体などからの意見、提言を計画に反映させ、常に本計画の質の向上を目指します。